

令和 4 年度 年間授業計画

東京都立大泉高等学校 全日制課程

教科・科目 講座名	総合的な探究の時間 「Quest & Creativity」 コア・プログラムⅢ・Ⅳ	単位数	2 単位	必修
対象学年・組	2年1組～5組			
担当教員	美原良子、時松秀行、辻井伸江、長谷川誠、佐藤慎也、橋本典子、高橋初美、田中亮太、三好健介、中丸美由紀、山田憲永、茂木高志、塚本慎史、武田修平、山口貴史、七森敦行			
教科書等	「課題研究メソッド」啓林館			

学習の目標	生徒一人ひとりが、自ら問いを立て、仮説検証型の探究活動をゼミ形式で進める。探究のプロセスを通じて、異分野との連携を図り、その成果を論文としてまとめ提出する。
-------	--

学期	単元(学習内容)	時間	学習上の留意点
1学期	① テーマ設定と、テーマに対する見方・考え方を決める。 ② キーワードや先行研究を調べる。 ③ RQを設定する。 ④ 仮説と探究の手法を決め、予備調査・実験を始める。 ⑤ 探究計画書を作成し、見通しを持って探究活動を進める。 ⑥ 夏期休業中の研究計画を立てる。 ⑦	24	コア・プログラムⅠ・Ⅱでの体験を踏まえて、生徒一人ひとりが、進路希望や興味関心をもとにゼミを選択している。それをもとに、RQと仮説を設定していく。グループワークを基本としていくが、場合によっては、個々で探究を進めても良い。予備調査、実験の段階は終わらせ、本格的に情報収集を進める。
2学期	① 論文形式を学ぶ。 ② これまでの収集したデータをまとめ、考察を始める。 ③ 考察や結論を再検討する。 ④ 見通しを持った計画を作成し、論文作成を進める。 ⑤ 論文を書き上げる。 ⑥ ⑦	28	夏季休業期間を通じて、データを収集し、その結果をまとめ考察を練る。その後は、さらに必要な探究を続けるとともに結果の検証や結論の再検討を行いながら、論文作成を進め完成させる。
3学期	① 1年間の成果をポスターセッションで発表する。 ② アウトリーチの方法を考える。 ③ 全体でのオーラルプレゼンテーションを行う。 ④ 1年間の振り返りをまとめる。 ⑤	18	論文を提出し、最終ポスターセッションで探究成果を発表する。探究内容のアウトリーチについて考える。 個々の進路希望に沿って、進路学習、あるいは、創造的な課題追究を行う。

評価の観点・方法	観点は、課題発見力、論理的思考力、批判的思考力、連携力、文章表現力の5つとする。積極的に課題追究を進める姿勢やグループ活動による協力的な態度、他者との連携、学習成果の発表や論文内容を総合的に評価する。
----------	--